

発行責任者

上田高女・染谷丘高校
東京同窓会
会長 小林 ふき子
〒178 東京都練馬区
大泉学園町2-27-11
TEL 03-921-7340

(題字は両角辰文校長先生)

呼応



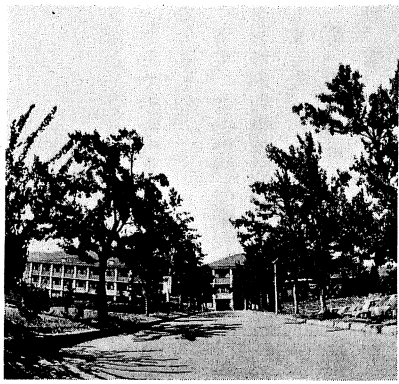
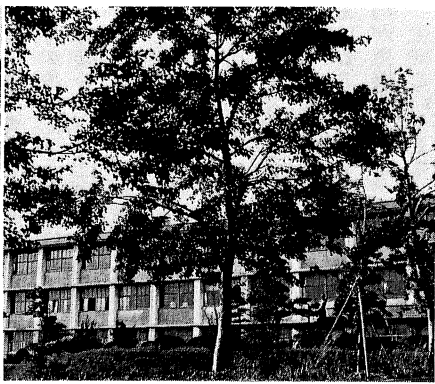
長野県上田染谷丘高等学校
創立八十周年記念 制作福家あや
一九八一・一〇

信濃路の秋も深まり、紅葉の美しい季節となりました。東京同窓会の皆様お元気ですか。

九月二十日には本部より大勢参加させていただき、コール染谷丘の美しい歌声のひびく盛會ぶりを拝見し、本家に招待されたかの錯覚におちいったくらいです。皆様の同窓会によせる熱意のほどが伺われ、本当に楽しい会でした。会長さんをはじめ役員の皆様のご苦

ご挨拶

長野県上田染谷丘高校同窓会会長 白鳥 つな 本科41回卒



校舎

労の賜物と感謝致しております。同じ学舎に学んだものが、年齢を問わず語れる唯一の総会は私達の心のよりどころであります。

今年より、不肖私が前小林宏子会長のあとを受け継ぎまして、会長の座を汚させて頂くことになりました。大任を果たせるかどうか不安でございます。どうか、ご指導下さるようよろしくお願い致します。

本部の方も恒例によりまして、去る十月四日に、第一〇五回同窓会をもち、東京より、会長さんはじめ三名の方々に参加いただきました。本年は、「呼応」の像が同窓生に呼び掛けている本校同窓会館で開催致しました。参加者は八十余名で、狭い会館の中はぎっしりでございます。

当日、会員の研修として、第四十二回卒業生の島田(旧姓半田)玲様をお迎えし、「敦煌の思い出」と題する講

演を伺いました。中国の旅の様子を、カメラマンの眼、書家の眼、仏教の眼で鋭く捉えた人間味あふれるお話に、一時間二十分があつという間に過ぎてしまいました。数十枚におよぶ写真をお持ち頂き、その腕のよさにも心をうたれました。近郷の同級生の皆様も大勢集まって下さり、光彩をそえて下さりました。卒業生のお話をお聞きするのは楽しいものでございます。

また、昭和六十六年の九十周年の式典をめぐりに、会員名簿を六十五年六月に完成させたいこと、支部活動の活性化をねらって「更埴」「長野」の方に支部だよりを発表していただきました。同窓会は一族のようなもので、分家、本家が常に連絡を密にして、会の発展のために努力することが大切ではないかと思えます。秋の一日充実した総会ができたことを嬉しく思います。私たちは、本校の卒業生であることの自覚と誇りを持ち、母校の発展をお祈りしつつご挨拶いたします。

コール染谷丘を迎えて

上田高女・染谷丘高校東京同窓会会長 小林ふき子 本科41回卒

いまま、あの美しい歌声が、私の耳に残っております。

何も彼も忘れて、自分の席についてコーラスに聴きまはれた数十分でした。雰囲気は満点。改装なった会場のインテリアと、コール染谷丘のみなさまのコスチュームとの調和が、なお一層私を陶然とさせてくれたのでしよう。その日は楽しい一日でした。ご出席の皆様はいかがでしたか？

九月二十日(日)、東京同窓会第三十八回定期総会は、過去にない大勢の若い会員の皆様のご出席をいただき、東京青山会館で盛大に執り行われました。



母校来賓による
四季のうた

当日、母校からは両角校長・岩下同窓会顧問(本科23回卒)・白鳥同窓会会長(本科41回卒)・須田(高4回卒)土屋(高5回卒)・副会長に事務局の武捨先生(本科45回卒)、在京の長野県人会連合会から藤原専務理事、そして上田高校関東同窓会から小林会長・生島、横山、堀内副会長・山崎幹事長・馬場副幹事長を来賓に、更にふるさとから岩森先生指揮するコール染谷丘の皆様を出演者としてお迎えしての大盛會。我が東京同窓会はじまつて以来の出席者数を記録いたしました。出席者の約三分の二が新制高校

卒業の方々であったこと、ほぼ百名の方が高校11回以降の卒業生であったことには驚かされました。そして、この数字は、ひとえに、岩森先生を始めとするコール染谷丘の皆様のご協力の賜物でございます。皆様は、練習の合間を縫って、お友達やお知り合いの方々に総会へ出席するよう呼び掛けてくださいました。お忙しい中ほんとうにありがとうございました。

駕籠に乗る人 担ぐひと

そのまた草鞋をつくる人

同窓会も、いろいろな形でご協力してくださる方があり、そのつながりにぎやかに成り立って行くものでございます。その様なご協力に対してお礼をひとこと。

本科29回卒の高橋寿恵子様

今年もあでやかな舞い姿。いつまでもお元気で東京同窓会のためにおもて芸をご披露くださいませ。本科42回卒のみなさま

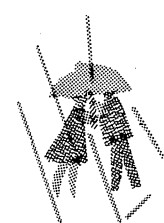
コール染谷丘あてのご芳志、ほんとうにありがとうございます。横沢政子様(本科31回卒)、寺島けさよ様(本科45回卒)

総会での貴重なご意見ありがとうございました。今後の同窓会運営の参考にさせていただきます。高11回卒のみなさまは、大挙二十名ご出席くださいました。ご協力心より感謝しております。

岩沢千代子様、水野美代子様(高18回卒) さすが!!。パンチの効いた歌声が、今日も私の心をゆさぶります。来年もぜひ——ネ

今年役員の高橋洋子様(高4回卒)、小川和子様(高11回卒)フルタイム勤務のかたわら、休日や夜間を利用しての役員会出席その他のご協力、ありがとうございます。

最後になりましたが、ご出席の皆様、東京同窓会員の皆様、同窓会のあるのも皆様のおかげでございます。見えないうちで協力いただくことがいかにありがたいことか。どんな生活の場でも大切なハーモニー。コール染谷丘に做って私達も、このハーモニーを育ててまいりたいと思います。



作品「呼応」について

福家 あや 高1回卒

先に歩んだ人々、自分、そしてその次にくる人々、目には見えないが、常に手をつないでいる。手のぬくもりさえ感じる。こんなに速く、みんな、てんでに散って住んでいるもの、耳にその声が伝わってくる。この絶えないつながりは一体なんだろうか? 自分一人ではないなと思う。たくさんの人々と自分は一緒なんだと思う。呼びかけてくる心の声になんとかして応じなければならぬ。大きい私流儀の元氣な声で応じようか? でも、声は届かない。応えるにはやっぱり先に歩んだ人々のように愛情から出た励ましと責任のある心が必要だ。そんな事を考えているうちに、この作品が生まれた。もう、ばかでない声をはりあげなくてもすみそうである。

(母校八十周年記念誌より転載)

あなたは有料?

それとも無料?

今度の東京同窓会名簿、(昭和六十三年三月三十一日現在)は六十二年度の会費を納めた方には無料でお送りいたします。作成費用の関係で、その他は有料となります。(予価一〇〇〇円)

塩壺温泉にて

高橋寿恵子 本科29回卒

私達二十九回卒業生は、去る十月六日軽井沢の塩壺温泉ホテルに泊しての楽しい集ひを致しました。...

話の種は盡きることなく、寝る間も惜しんで語りひました。よくぞここ迄生き抜いてきたと思ふと、亡き友の顔が次々と思ひ出され、七十四歳の旅路をしみじみ味はひました。...

年次役員選出のお願い

年次役員とは、各卒業年次から送り出される役員のことです。会則により、一期二年を任期とし、各年次一名選出と定められております。...

親睦を目的とする同窓会では、一年に一度の総会で、いわゆる総会に費やすことのできる時間は、たかだか三、四十分。この場で様々な議論をつくすことは、まず不可能といわねばなりません。...

この点をご理解いただき、また年次役員を出していただく各期の皆様、役員総会へ、ぜひ役員一名をお送りくださいませ。...

わすれな草

岩森 幸宏

さわやかな秋風が感じられる季節となりました。さて、このたびの盛大な同窓会、今さらながら染谷丘の団結力に感動いたしました。...

思い思いの道に学窓を巣立ち、幾春秋。互いの消息も途絶えがちになる今日この頃、老いも若きも染谷丘という一本の糸でしっかりと結ばれている。...

思えば昭和三十五年、染谷丘に着任教師としての第一歩を踏み出しました。闇の中に放り込まれたような私を明るくするところへ一歩一歩誘導してくれたのが生徒達でした。...

恵まれた環境での三十五年から五十七年、人生で一番充実した二十二年間でした。そして、教え子という大きな財産を得ることができました。...

染谷丘を離れ、私一人が駆け足で年をとっていくような不安を感じだした頃コール染谷丘誕生。また教え子が手頃になりました。...

私達の岩森先生

木内美紀子 高16回卒

今年の東京同窓会は、このほか楽しい思い出を残してくれました。小林会長さんから、今年の同窓会には、岩森先生と、コール染谷丘の皆さんをお呼びする事をお聞きして、大変うれしく、心待ちにしておりました。...

ほとんど変わらず、少しふっくらなさをさしのべてくれた、気持ちに若さを吹き込んでくれた。各種演奏会に参加、念願の発表会も成功し、更に感動の同窓会発表。...

懐かしい顔々。若い日の想い出が駆けぐる内での演奏。歌う染谷丘、聞いてくれる染谷丘。温かい宴です。幾度となくこみあげるものがあり、このような機会を作っていたいた同窓会に感謝しつつ指揮をしていました。...

昔のままの美しいハーモニ、独唱、メドレー、そしてどの場へ行っても立派に活躍している明るく若々しい仲間達と歌った「忘れな草」。全身で歌う姿が美しい。...

同窓会のみならずのご発展を願いつつ、育てていただいた染谷丘に少しでもお役にたてるよう、気持だけでもう一度若返って、コール染谷丘と共に頑張りたいと思っています。...

り、いつまでもお若く、なお一層素敵になられ、音楽の香りを、いっぱい漂わせて、お指揮をなさるお姿、そして、コール染谷丘の、やさしい心休まる歌声に、うっとりしてしまいました。...

も、岩森先生を囲み、昔話に花が咲き、女学生気分、にぎやかでした。最後に、先生のお指揮で、二、三曲合唱しお別れ致しました。これを機会に、東京支部音楽班の同窓会を開きたいと言う声がありまして、これから努力してみようと思っております。...



コール染谷丘 今回出演のメンバー ()内は旧姓と高卒回期

- <指揮> 岩森幸宏 <伴奏> 和田弘子 河田良子
<ソプラノ> 大塚英子 (30) 柴田麻理 (34) 摺田二三子 (鳥羽・19)
西沢史映 (36) 山岸三恵子 (滝沢・15) 和田弘子 (山浦・16)
<メソソプラノ> 石川弘子 (石川・24) 河田良子 (岩田・24) 関野恵子 (尾崎・20)
竹花多喜子 (高野・30) 山崎孝美 (30) 由井美枝子 (20)
平林俊子 (小松・20)
<アルト> 小川寿子 (前川・18) 金井貴夜子 (高寺・20) 小林栄子 (19)
続美枝子 (南波・19) 横田千枝子 (竜野・20)

告知板

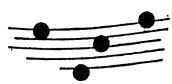
- 恩師の消息
● 神戸時司 先生
〒525滋賀県草津市野村町六四五一二二
京滋音楽事務所
(土曜午後から日曜夕方まで)
● 田子 檀 先生 (六二歳)
長野清泉女学院高校講師

● 丸山 清 先生 (七七歳)
『孫相手に書道を楽しんでいます』
詳しくは、高10回卒 一之瀬直枝様まで。☎〇四二五―七三三―三三三

● 総会で歌おう！
来年の総会には私たちが歌いましょう。参加希望者は東京同窓会庶務担当まで。☎〇三―七〇〇―八八五―樋口

編集後記

☆十月四日―信州は秋たけなわ―
母校同窓会総会の日でした。同窓会館への道すがら、きれいに咲いたコスモスに、思わず足をとめました。
☆白鳥母校同窓会長からご紹介のあった講演「敦煌の思い出」は、講師島田様のご了解を得て録音してあります。お聴きになりたい方は小林会長まで。
☆最高齢はご来賓の岩下止代様(大正13年卒)、最年少はコール染谷丘所属の西沢史映様(昭和58年卒)。先輩後輩が六十年もの年齢の差をこえて一堂に会し、歌に酔った九月二十日。佳い一日でした。
☆ご都合で出席なされなかった会員の皆様にも本号を通じて、少しでも総会の余韻を味わっていただければ幸いです。
☆事務局では、すでに来年度発行予定の東京同窓会会員名簿作成にとりかかっております。先般お送りした調査用はがき未返送の方は、至急、所要事項ご記入のうえご投函くださいませ。



収支計算書 (昭和61年4月1日～昭和62年3月31日)

Table with 4 columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses), 金額 (Amount), and 科目 (Category). It lists various financial items like '前年繰越金' and '雑費' with their respective amounts.

上記計算書は昭和62年度総会で承認されました。次期繰越金の内訳は、現金45,980円、中期国債ファンド 600,000円です。